

大阪のスーパーシティ 2025大阪関西万博大阪健康パビリオン で見せる未来社会

大阪大学大学院 寄附講座教授
2025大阪関西万博・大阪パビリオン総合プロデューサー
森下 竜一氏

「2025年日本国際博覧会」の意義

【日本・大阪にとっての意義】

時代を先取りして、未来社会を2025年に見せる場

Society5.0を実現する場

日本が出遅れた、デジタル分野・第4次産業革命分野等で、

日本での社会実装を進めるとともに、世界トップに躍り出る機会

世界における「実証事業都市・大阪」の位置づけの確立と「大阪への投資」実現

多種多様な仮説をたて、2025年に向けて実証実験を繰り返す中から、

イノベーションを創出する気風の醸成



< 2025年日本国際博覧会 >

開催期間 : 2025.4.13 ~ 10.13

開催場所 : 大阪 夢洲(ゆめしま)

いのち輝く未来社会のデザイン“Designing Future Society for Our Lives”

サブテーマ

Saving Lives(いのちを救う)

Empowering Lives(いのちに力を与える)

Connecting Lives(いのちをつなぐ)

コンセプト

-People s Living Lab- 未来社会の実験場

展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。

万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ
人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に

第二期健康医療戦略

日本型医療・ヘルスケアサービス等の対外発信

我が国の健康・医療関連産業の国際展開につなげるべく、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博等の機会を捉え、我が国の最先端の技術や日本型医療・ヘルスケアサービス等の対外発信を行う。

大阪パビリオンテーマ「Reborn」は「健康・医療」 が大きなテーマ

テーマ展開の方針

わが国では、目指すべき未来社会の姿として、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の快適で質の高い生活、活力ある社会、いわゆるSociety5.0が提唱されています。

出展にあたっては、私たちが掲げるテーマ「REBORN」のもと、「健康」という観点から未来社会の**新たな価値の創造に取り組めます**。また、「知る・感じる」「体験できる」「みんなで参加できる」という視点から、展示やイベントを通じ本博覧会の3つのサブテーマ、「Saving Lives（いのちを救う）」、「Empowering Lives（いのちに力を与える）」、「Connecting Lives（いのちをつなぐ）」にアプローチします。

-----2025年大阪・関西万博 出展参加基本構想（素案）より



-----4月20日産経新聞より



全景イメージ

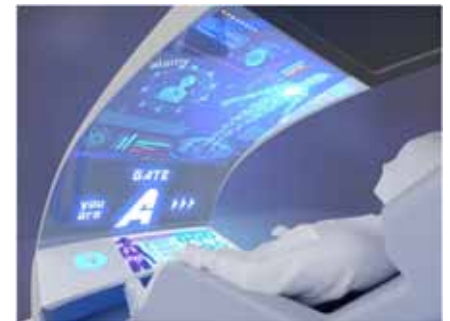


パビリオン内で体験できる、人が生まれ変わる様々なコンテンツが、会場全体に開いた透明感あるショーケース。
未来の大阪の魅力やパワーがパビリオンから溢れだし、光り輝くシンボルとなる。

アンチエイジング・ライド



自動診断ライドのクロージング体験

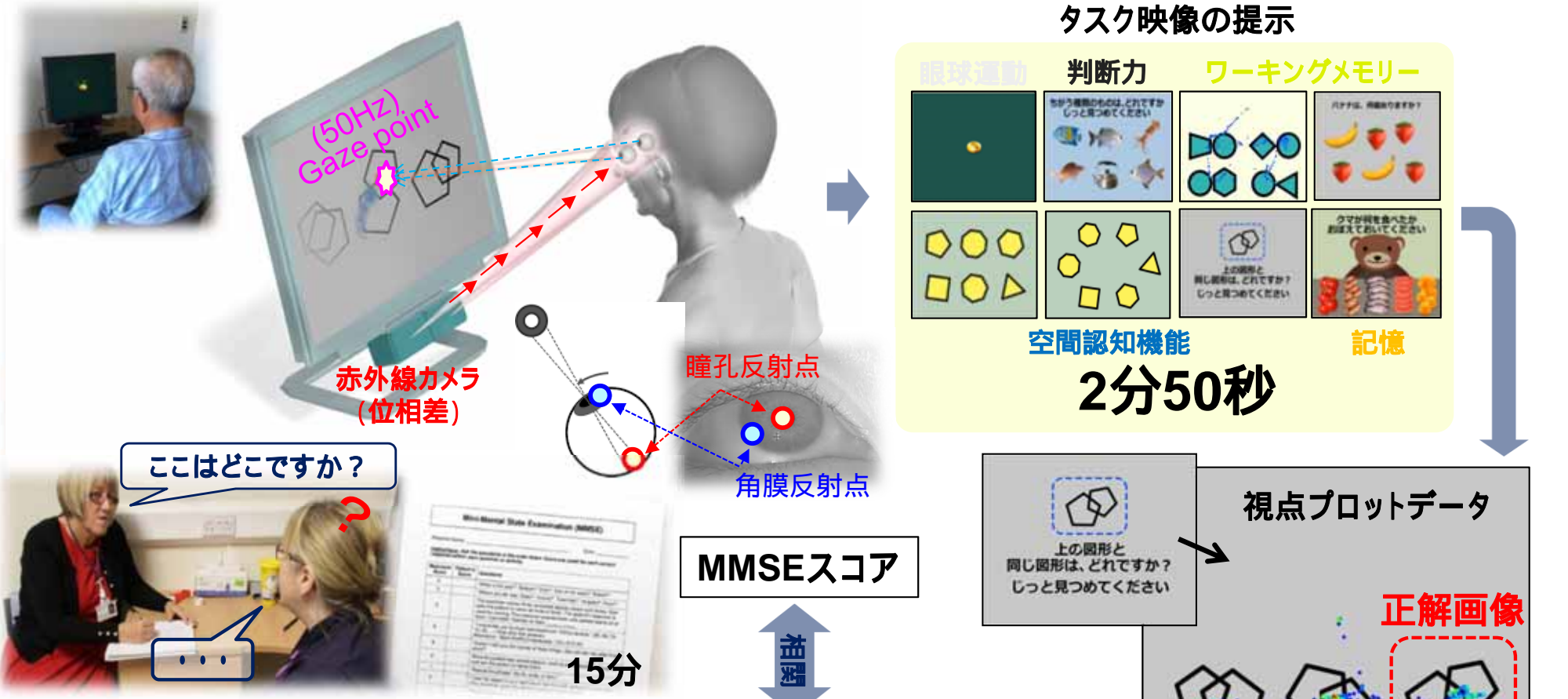


シート前面のガラスウィンドウに自動診断でのデータ解析から導き出される診断サマリーと次に進むコンテンツが表示される

たまりスペース:没入感のある体験

ポッド型ライドに乗車した後、ホールの吹き抜けを回遊しながら2Fに向けて進んでいく。道中にある映像面やたまりスペースによって没入感のある自動診断を行う。自動診断ライドを終えると、最後に診断サマリーと次のコンテンツリコmendを表示

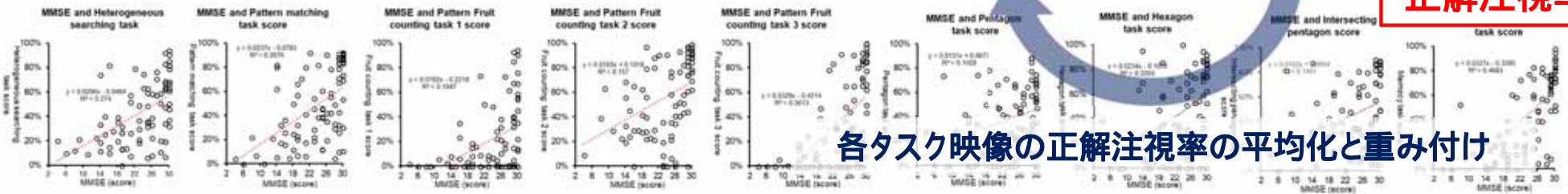
視線検出技術を利用した簡易認知機能評価法の開発



従来の神経心理検査による
認知機能スコアと照合

認知機能のスコア化(定量化)

各タスク映像の正解注視率の平均化と重み付け



REBORNレストラン

企業展示・体験スペース：
パーソナライズされたサプリメント提供

サスティナブルな屋内菜園
(ドローンによる食材の収穫)

パーソナライズされたヘルスケアフード・ドリンクの
実演ロボット調理(中央の屋内菜園の食材は自動搬送される)



IDカードを差し込むと、パーソナルデータに基づいた
フードをリコmendしてくれる

自動搬送ロボットによる配膳

「アンチエイジング・ライド」での診断サマリーを元に、パーソナライズされたヘルスケアフード・ドリンクを提供するレストラン
テクノロジーとオーガニックが組み合わされたフューチャリスティックな食体験を提供する

REBORNコンテンツゾーン



若返りミラー
若返った自分を見ることができる
インタラクティブコンテンツ

フィットネスルーム
パーソナライズされたフィットネプログラムを体験

マイクロミスト体験
若返った肌を手に入れることができる

様々な再活性体験ができるREBORNコンテンツゾーン
パーソナライズされたフィットネスプログラムや、AIによるアンチエイジングアドバイスなどが体験できる

レストラン以外の「REBORN」体験プラン



Myフィットネス

パーソナライズされた、フィットネスプログラムの提供。その場で、インストラクターと共に体験することもできる。



ヒーリングミストルーム

防水服をまとい、顔手足だけを出し、全身にミストを浴びる。パーソナライズされた情報に基づいて時間や内容が変わる。



パワードスーツ体験

身体機能に補助が必要と判断された人向けに、最新のパワードスーツの試着体験ができる。



若返りミラー

IDをかざして、希望の年齢をいれると、その年齢の自分に戻ることができるインタラクティブミラー。



AIメイクアップ

IDをかざして、希望の若返りイメージを選択すると、それに合わせたメイクを提案、希望する人はその場でメイクアップ。



パーソナルプレイリスト

診断サマリーから、必要なメンタルヘルス向上に繋がる、1世代若年層向けのミュージックプレイリストを提供。

ミライの病院 2F : 未来の医療SHOW 「NATIVE HUMAN」



透明スクリーン

活躍するドクターの1日を追うストーリー
最新技術を駆使した体感型のシアターで、
未来医療の姿を疑似体験できる

中央部の観客席が回転する方式で
3つのシーンを巡る回転型劇場
大人数の来場者が一堂に体験できる

まだ実用としての展示が難しい「再生医療」「ナノテク」「AI診療」などを題材にした、
ひとつのストーリーを演劇作品として見る

ミライの病院 1F：未来の医療ショールーム「ホスピランド」



遠隔手術体験

再生医療技術を3D立体映像で象徴的に展示

自動細胞生成装置

近未来に実現する医療施設・機器・サービスを展示
各コンテンツは再生医療のプロセスが体験できる参加型展示



未来の医療ショールーム「ホスピランド」の概要

1階エントランス横に位置する近未来に実用される最新の医療設備を気軽に見たり、体験できるコーナー。最新のCTやMRIなどは擬似的な操作で利用イメージを見たり、AI診断、遠隔操作のロボット手術等は、実際にシミュレーターを動かして、こどもからお年寄りまで、実際の利用シーンに近い体験が行える。



最新医療設備・サービスの展示

ホスピランドのメインコーナーでは、最新のCT、MRIなどの機材、AI診断、細胞培養装置、遠隔診断、手術ロボットなど、日常ではなかなか目にすることが出来ない医療設備を、医療メーカーと連携して設置する。機器の機能や利用シーンが伝わるよう、実働展示が出来ないものは、解説映像を併設する。



未来のリハビリホーム展示

パビリオンに併設して、リハビリテーション設備を備えた近未来の住居をモデルルームとして展示。オープンハウスのように中での生活をイメージできる見学プランを用意。



救急センターとして検討

この「ホスピランド」の一部、もしくはバックヤード等に、救急センターとしても機能する、近未来の設備デザインが設置された「診察室」や「簡易病室」を設け、救急利用者が訪れた場合、救急センターとして実際に利用できる体制を検討する。

新しい運営スタイルの導入で、地球的課題解決へ



アバター・アテンダント

リモートでアバター・アテンダントが案内。
障がい者や高齢者等の誰もが運営参加できる運営を実現。



ロボットを活用した施設管理

業務用ロボット（警備ロボット・清掃ロボット等）や、殺菌灯を
搭載した新しいスマートロボットを活用して、施設管理を行う。



スマート・ウェイティング

完全予約制の導入や、スマホ等を活用した整理券の発行により、
「待ち時間ゼロのお待たせしない運営」を実現。また、来館者情
報を分析し、効率的な運営を実現。



Team OSAKA・SDGsの編成 (市民ボランティア)

大阪館を「SDGs大阪モデルシティ」として、様々な取り組みや
実証実験を行うため、市民ボランティアによるチームを編成。事
前のプランニングから、現地での活動、実証実験までを一貫して
行い、市民参加のレガシーとする。

バーチャル大阪館のイメージ



「バーチャル大阪」内に2023年オープン予定の「バーチャル大阪館」イメージ

デジタル地域通貨（エキスポコイン）に言語情報（AI）・位置情報（ビーコン）・生体情報をヒモづけ、地域でのサービス流通・地域経済の活性化につなげる



大阪観光局と連動し、関空・新大阪からデータ収集開始



住民ニーズに合わせた適時性の高い健康情報
個人に合った健康プログラム



移動ニーズに合わせたMaaS



個人の趣向・位置情報に合わせた各種レコメンデーション

エキスポTVと連動（プッシュ通知）

万博・大阪パビリオンとも連動し、来場者にも個別化サービス提供

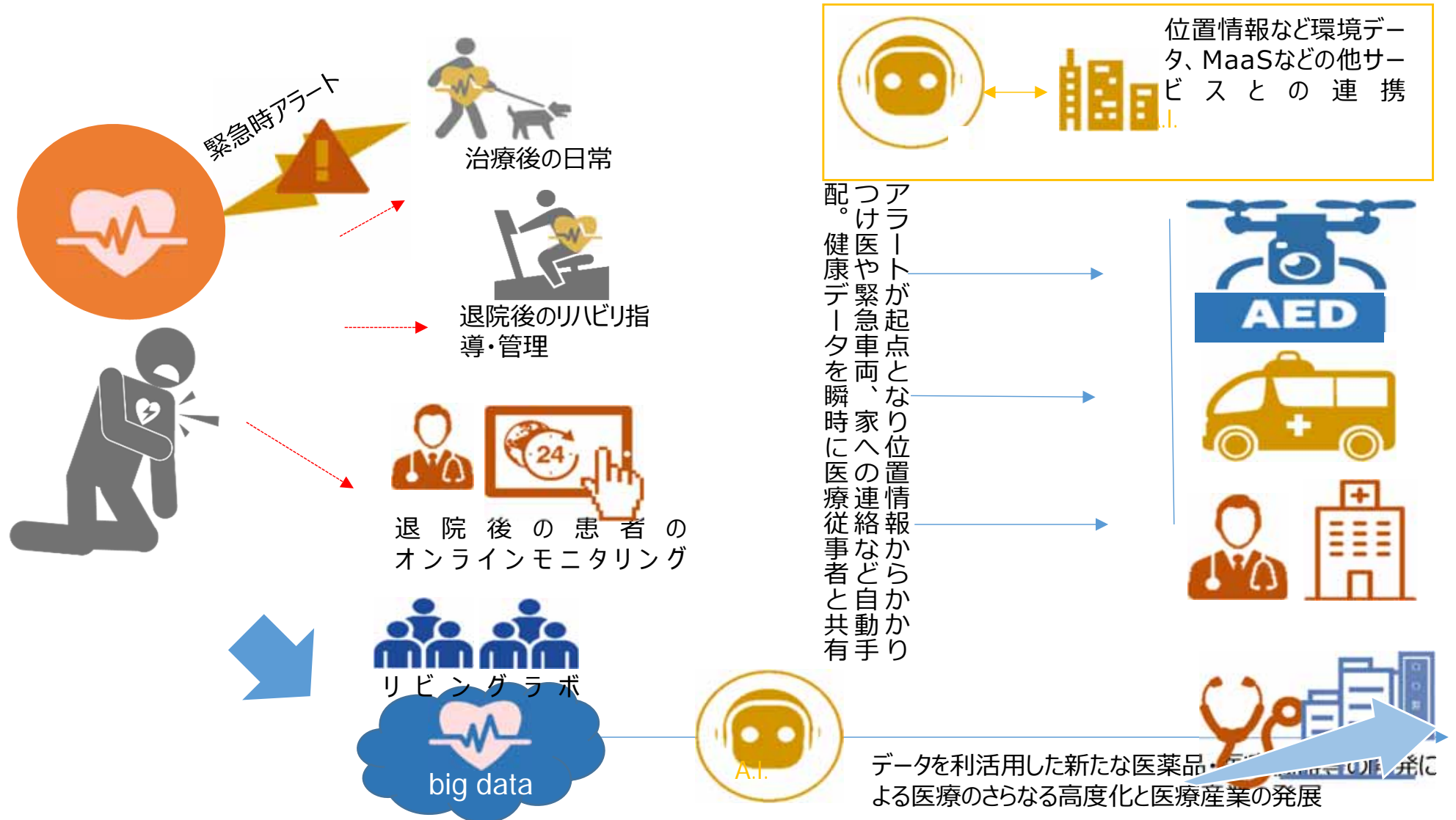


デジタル地域通貨（エキスポコイン）の活用により、様々なデータに住民自身がアクセスできることとなり、また、パーソナライズされたサービスの提供・利用がスムーズに行われる

最適な日常の疾病管理、安心な救急対応、利便性の高い医療とトレードオフに

生体情報・位置情報利用により万博会場での死亡をゼロに

遠隔で医師の指導を受け、適切な在宅疾病管理で重症化予防、安心できる救急対応



スーパーシティにより、個人の個性や状態にあわせた心身の健康維持、疾病管理、及び、医療緊急時対応等に役立つ健康・医療関連サービスの創出を加速し、健康寿命延伸社会を大阪で実現へ

大阪のスーパーシティ「うめきた2期」「万博・夢洲」に来街する多様な人々の「誰もが、心身の健康を維持し、活動的な生活を送る」を可能に。

Wellness-centric Inclusive and Vibrant City